



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	国民社会の研究 第15巻
Author(s)	鈴木, 栄太郎
Description	『鈴木栄太郎著作集 7（国民社会学原理ノート）』を出版した際のソースとなった原稿である（同書内での言及による）。
Issue Date	1962-02-16
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/77586
Type	manuscript
File Information	I018_0115.pdf



15



HANKYU

MA
3

25

NOTE BOOK

國民社會の研究
第十五卷

昭和三十七年九月二十七日

KYOYEI

15

口境線内の非自治統
一として
の口境線内の
の口境線内の

(東京)に存在す。各道は地方中都市(府縣)を可成り
にあつて府縣内に匹敵するものあり。
一、東京の都府は中都市といふ市役所に匹敵
す。止。(府縣を可成り)
一、東京の同市圏は東京市
一、地方の都府市の同市圏は市内

國民社會の研究

2. 社会的交流路線と国境線

戦後の日境線の脅威
北緯30°の遠征道

□カ抗大期の□境名種と遷移時の□境の流入

3. 組合運動の組織——模範内↓

都市内連合↓町内連合↓

世
中
和
平
協
定

口境の生活の定着の性質の都市の発展のため

4. 3. 日頃の生活の家短を特約記者と面談して、その結果を結晶の社会情報誌に発表する。

緒帝と樟取と支配と政治と家

新橋

④ 結算、連絡、委託、代行、庶務、庶務、統制

據報以支取指力政臨口家

④ 都市は農業生活と機械のありとある都市と計画は
三つに大なり小なり都市の安全と発展のためにはここに
住む最大人の最大利益のためのものである。△

⑤ 都市の発展は歴史において、都市の発展は都市

⑥ 都市の発展は歴史において、都市の発展は都市

⑦ 都市の発展は歴史において、都市の発展は都市

⑧ 都市の発展は歴史において、都市の発展は都市

⑨ 都市の発展は歴史において、都市の発展は都市

⑩ 都市の発展は歴史において、都市の発展は都市

⑪ 都市の発展は歴史において、都市の発展は都市

⑫ 都市の発展は歴史において、都市の発展は都市

⑬ 都市の発展は歴史において、都市の発展は都市

⑭ 都市の発展は歴史において、都市の発展は都市

⑮ 都市の発展は歴史において、都市の発展は都市

⑯ 都市の発展は歴史において、都市の発展は都市

⑰ 都市の発展は歴史において、都市の発展は都市

⑱ 都市の発展は歴史において、都市の発展は都市

⑲ 都市の発展は歴史において、都市の発展は都市

⑳ 都市の発展は歴史において、都市の発展は都市

㉑ 都市の発展は歴史において、都市の発展は都市

㉒ 都市の発展は歴史において、都市の発展は都市

㉓ 都市の発展は歴史において、都市の発展は都市

㉔ 都市の発展は歴史において、都市の発展は都市

㉕ 都市の発展は歴史において、都市の発展は都市

㉖ 都市の発展は歴史において、都市の発展は都市

△ 都市の上下交通的組織の中は首都、大都市、地方都市の
組織の内に組織組織の中心、本質的に都市の
① 都市と人口の同一性、都市は都市の中心
② 都市の人口は都市の中心、都市は都市の中心
③ 都市の人口は都市の中心、都市は都市の中心

④ 都市の人口は都市の中心、都市は都市の中心
⑤ 都市の人口は都市の中心、都市は都市の中心
⑥ 都市の人口は都市の中心、都市は都市の中心

⑦ 都市の人口は都市の中心、都市は都市の中心
⑧ 都市の人口は都市の中心、都市は都市の中心
⑨ 都市の人口は都市の中心、都市は都市の中心

⑩ 都市の人口は都市の中心、都市は都市の中心
⑪ 都市の人口は都市の中心、都市は都市の中心
⑫ 都市の人口は都市の中心、都市は都市の中心

□ 國家の將來を共に感ずる責任を調査

A 社會關係としての政治の觀察

政治現象の末端より中心に至る實際的

研究を一急行あり *◎△□

従来は中心より末端に。主として現象の關係

中心の描く図式としての政治

君も庶民も半分は眺めたい。

□ 家は可成り何にかを究明する。

大口の常民がうけてゐる被統治現象

とともに、□ 内や教民族のうけは被統治

現象として、又軍政統治下の

被統治現象を見るより、凡そ

統治現象の實際の意味するものを

一九二〇年の打撃は、政治學の共同課で「政

治と打撃」の發表に政治の末端に対する觀察

を期はした、失策も甚。

◎ マクス・ウェーバーの官僚制の研究も末

端を見失つてゐる。末端にこそ政治の真

實の實力が期はされる。

△ 江の島の觀光金策について、例は統治機構の

末端が多岐にわたる場合、中心通常の現象を

把握するに、例は末端機軸中心の場合

政治現象は、政治現象の進行は巨細的。

◎ □ 内最上層の被統治現象、最下層の被

統治現象

✕ □家による実利をばつて人々 □家による

苦しい物事をさして □家が借財を

作るもの見解

④ □家の数に限る要素、不可欠の

要素の確立のみに果てず
所ある □家を有せぬ人々の人々
の確立、今地球上の □家の境
外、土地はた □家と土地

土地支配権をいかに □家、
土地支配権の要素、 数回は自然を
土地の支配をいかに 生産（おける）テリトリー

山中失中時の新い 共同主義
土地の共同所有、共同主義

日本の新いテリトリー力の 新い
日本では新い 共同主義

新いテリトリー力の 新い
新いテリトリー力の 新い

明かしたつ ✕

□家は特に力にたておくが □民は

の 新い □家の同連をいふのた

はなれ □民は □家の同連をいふ

その他の生活のたて方があるが

⑤ 社会文化としての □家の理解

他人に失たてない 後から存続する文化と

しこの □家の 存在

⑥ 特に變則的な 社会情勢による

□家の 理解 14,000 (4,000)

イ、少数民族 □、少数民族 八思

不、政民衆 二、新 □民

ホ、軍政下 新い 新い

多量の第一番は初
泉も常には登る。折々奥の口泉地は口泉
の内から中心から見た口泉

てつ
の
口
は
死
小。
一
ア
フ
リ
イ
ー
シ
と
し
の
中
へ

1000

77
70
70
70
70
70
70

八

高 ④

7
9
7
20
2

T
2
11
4
1
6

415
⑤ 16
7/10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100
101
102
103
104
105
106
107
108
109
110
111
112
113
114
115
116
117
118
119
120
121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
139
140
141
142
143
144
145
146
147
148
149
150
151
152
153
154
155
156
157
158
159
160
161
162
163
164
165
166
167
168
169
170
171
172
173
174
175
176
177
178
179
180
181
182
183
184
185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199
200
201
202
203
204
205
206
207
208
209
210
211
212
213
214
215
216
217
218
219
220
221
222
223
224
225
226
227
228
229
230
231
232
233
234
235
236
237
238
239
240
241
242
243
244
245
246
247
248
249
250
251
252
253
254
255
256
257
258
259
260
261
262
263
264
265
266
267
268
269
270
271
272
273
274
275
276
277
278
279
280
281
282
283
284
285
286
287
288
289
290
291
292
293
294
295
296
297
298
299
300
301
302
303
304
305
306
307
308
309
310
311
312
313
314
315
316
317
318
319
320
321
322
323
324
325
326
327
328
329
330
331
332
333
334
335
336
337
338
339
340
341
342
343
344
345
346
347
348
349
350
351
352
353
354
355
356
357
358
359
360
361
362
363
364
365
366
367
368
369
370
371
372
373
374
375
376
377
378
379
380
381
382
383
384
385
386
387
388
389
390
391
392
393
394
395
396
397
398
399
400
401
402
403
404
405
406
407
408
409
410
411
412
413
414
415
416
417
418
419
420
421
422
423
424
425
426
427
428
429
430
431
432
433
434
435
436
437
438
439
440
441
442
443
444
445
446
447
448
449
450
451
452
453
454
455
456
457
458
459
460
461
462
463
464
465
466
467
468
469
470
471
472
473
474
475
476
477
478
479
480
481
482
483
484
485
486
487
488
489
490
491
492
493
494
495
496
497
498
499
500
501
502
503
504
505
506
507
508
509
510
511
512
513
514
515
516
517
518
519
520
521
522
523
524
525
526
527
528
529
530
531
532
533
534
535
536
537
538
539
540
541
542
543
544
545
546
547
548
549
550
551
552
553
554
555
556
557
558
559
560
561
562
563
564
565
566
567
568
569
570
571
572
573
574
575
576
577
578
579
580
581
582
583
584
585
586
587
588
589
590
591
592
593
594
595
596
597
598
599
600
601
602
603
604
605
606
607
608
609
610
611
612
613
614
615
616
617
618
619
620
621
622
623
624
625
626
627
628
629
630
631
632
633
634
635
636
637
638
639
640
641
642
643
644
645
646
647
648
649
650
651
652
653
654
655
656
657
658
659
660
661
662
663
664
665
666
667
668
669
670
671
672
673
674
675
676
677
678
679
680
681
682
683
684
685
686
687
688
689
690
691
692
693
694
695
696
697
698
699
700
701
702
703
704
705
706
707
708
709
710
711
712
713
714
715
716
717
718
719
720
721
722
723
724
725
726
727
728
729
730
731
732
733
734
735
736
737
738
739
740
741
742
743
744
745
746
747
748
749
750
751
752
753
754
755
756
757
758
759
760
761
762
763
764
765
766
767
768
769
770
771
772
773
774
775
776
777
778
779
780
781
782
783
784
785
786
787
788
789
790
791
792
793
794
795
796
797
798
799
800
801
802
803
804
805
806
807
808
809
810
811
812
813
814
815
816
817
818
819
820
821
822
823
824
825
826
827
828
829
830
831
832
833
834
835
836
837
838
839
840
841
842
843

12
4
42
70
10
18
18

多

金 19 元

宣
人
新

社會主義

能為之

話を
通す
中
に

自然法學異議、フートヒリス、諸君、異議

此の考へに實證的根據を求めよの力がある

+

+

不
の
先
丁
新
元
正
と
福
山
山

少数民族、シヒュー、軍政下の人民が幸福

口宗
宗の
死に
望み
し人
物
宗
宗
理

社 厚 子 代
と し 2 の
口 泉 の
大 川

口家塾子孫 爲之仁字修 四外仁年七

五言古詩

口泉の革命を的とする

7
197

その先、その

三 四
 五 六
 七 八
 九 十
 十一 十二
 十三 十四
 十五 十六
 十七 十八
 十九 二十
 二十一 二十二
 二十三 二十四
 二十五 二十六
 二十七 二十八
 二十九 三十
 三十一 三十二
 三十三 三十四
 三十五 三十六
 三十七 三十八
 三十九 四十
 四十一 四十二
 四十三 四十四
 四十五 四十六
 四十七 四十八
 四十九 五十
 五十一 五十二
 五十三 五十四
 五十五 五十六
 五十七 五十八
 五十九 六十
 六十一 六十二
 六十三 六十四
 六十五 六十六
 六十七 六十八
 六十九 七十
 七十一 七十二
 七十三 七十四
 七十五 七十六
 七十七 七十八
 七十九 八十
 八十一 八十二
 八十三 八十四
 八十五 八十六
 八十七 八十八
 八十九 九十
 九十一 九十二
 九十三 九十四
 九十五 九十六
 九十七 九十八
 九十九 一百

20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100
 101
 102
 103
 104
 105
 106
 107
 108
 109
 110
 111
 112
 113
 114
 115
 116
 117
 118
 119
 120
 121
 122
 123
 124
 125
 126
 127
 128
 129
 130
 131
 132
 133
 134
 135
 136
 137
 138
 139
 140
 141
 142
 143
 144
 145
 146
 147
 148
 149
 150
 151
 152
 153
 154
 155
 156
 157
 158
 159
 160
 161
 162
 163
 164
 165
 166
 167
 168
 169
 170
 171
 172
 173
 174
 175
 176
 177
 178
 179
 180
 181
 182
 183
 184
 185
 186
 187
 188
 189
 190
 191
 192
 193
 194
 195
 196
 197
 198
 199
 200
 201
 202
 203
 204
 205
 206
 207
 208
 209
 210
 211
 212
 213
 214
 215
 216
 217
 218
 219
 220
 221
 222
 223
 224
 225
 226
 227
 228
 229
 230
 231
 232
 233
 234
 235
 236
 237
 238
 239
 240
 241
 242
 243
 244
 245
 246
 247
 248
 249
 250
 251
 252
 253
 254
 255
 256
 257
 258
 259
 260
 261
 262
 263
 264
 265
 266
 267
 268
 269
 270
 271
 272
 273
 274
 275
 276
 277
 278
 279
 280
 281
 282
 283
 284
 285
 286
 287
 288
 289
 290
 291
 292
 293
 294
 295
 296
 297
 298
 299
 300
 301
 302
 303
 304
 305
 306
 307
 308
 309
 310
 311
 312
 313
 314
 315
 316
 317
 318
 319
 320
 321
 322
 323
 324
 325
 326
 327
 328
 329
 330
 331
 332
 333
 334
 335
 336
 337
 338
 339
 340
 341
 342
 343
 344
 345
 346
 347
 348
 349
 350
 351
 352
 353
 354
 355
 356
 357
 358
 359
 360
 361
 362
 363
 364
 365
 366
 367
 368
 369
 370
 371
 372
 373
 374
 375
 376
 377
 378
 379
 380
 381
 382
 383
 384
 385
 386
 387
 388
 389
 390
 391
 392
 393
 394
 395
 396
 397
 398
 399
 400
 401
 402
 403
 404
 405
 406
 407
 408
 409
 410
 411
 412
 413
 414
 415
 416
 417
 418
 419
 420
 421
 422
 423
 424
 425
 426
 427
 428
 429
 430
 431
 432
 433
 434
 435
 436
 437
 438
 439
 440
 441
 442
 443
 444
 445
 446
 447
 448
 449
 450
 451
 452
 453
 454
 455
 456
 457
 458
 459
 460
 461
 462
 463
 464
 465
 466
 467
 468
 469
 470
 471
 472
 473
 474
 475
 476
 477
 478
 479
 480
 481
 482
 483
 484
 485
 486
 487
 488
 489
 490
 491
 492
 493
 494
 495
 496
 497
 498
 499
 500
 501
 502
 503
 504
 505
 506
 507
 508
 509
 510
 511
 512
 513
 514
 515
 516
 517
 518
 519
 520
 521
 522
 523
 524
 525
 526
 527
 528
 529
 530
 531
 532
 533
 534
 535
 536
 537
 538
 539
 540
 541

[Handwritten notes in cursive script]

おのれにまかせ

1. 姓名: 王明

に、
て
る
は
な
り

五
道
不
足
以
成
其
事

生 子 不 可 不 教

丁巳年

石

(Faint handwritten notes)

[Faint handwritten notes and scribbles]

勞使利益分配の合理的処置

企業体は勞使の協力体であるか、

尙大多數分配は全員一律に平等

に見えなうは資本家も勞働者も平

等である。依りて資本家と勞働者側

の二つに分け、なうは最大多數の勞働

大幸福の實現はより勞働者側に

有利である。資本家はたゞぬ。

けれども企業団体の為の分配を

受けとせしむ勞働者の利益を資本

の利益を換算す。此等はたゞの

そのよを考へて共産主義にならざる

法はない。

リントこの人回の研究

Stalin

これに人々を従わせるもの

これに人々を従わせるもの

これに人々を従わせるもの

これに人々を従わせるもの

これに人々を従わせるもの

これに人々を従わせるもの

地位群 (status) 群 社会の階級

地位群 (status) 群 社会の階級

地位群 (status) 群 社会の階級

地位群 (status) 群 社会の階級

地位群 (status) 群 社会の階級

マートンの社会構造理論批判

マートンの社会構造理論の考へ（正しくは

リントンの社会構造理論の考へ（正しくは

正しくはリントンの社会構造理論の考へ（正しくは

正しくはリントンの社会構造理論の考へ（正しくは

正しくはリントンの社会構造理論の考へ（正しくは

正しくはリントンの社会構造理論の考へ（正しくは

正しくはリントンの社会構造理論の考へ（正しくは

正しくはリントンの社会構造理論の考へ（正しくは

正しくはリントンの社会構造理論の考へ（正しくは

その社会的統一の骨組をなすものは何であらうか。居るもの。

（口説き）
私の社会構造的欠乏

その社会の統一において最も支配的集團は何であるか。破綻の社会である。それは、どんな形でも、その社会的統一の中心に位置し、どんな形でも、その社会的統一の中核として機能するものか。を物語する。ナカニス。構造が社会の意味。す。社会構造である。

日本の社会については、客観的

実として、それが同様である。社会

によって、三つの集團関係の中

その中間の関係を認めよう。

但し、何れの方にも、新時代のうらやまを感ずる

の同志の中に、村松を以て、新時代の

いう自然者を、新時代とすべし、新時代

農村の精神を、新時代と認めたい。

都市の精神を、新時代と認めたい。

は全く別の発想によつて、新時代人

口の、新時代生活の精神によつて

都市にかける、新時代生活は、新時代

(新時代)と、新時代の精神を、新時代

と、新時代の精神を、新時代と認めたい。

色々の精神によつて、新時代が、新時代

たつて、新時代と認めたい。

にあつたのは毛髪、
その利便でして、

集金係は都府、
集金は様園であり
戦場である、
それを爆破するに
よって日本人の
生活は留めをす、
たてはなつか

口家は最も最野直の流る文化

口家は今日その名にのこつたところ
最も最野直の行跡も思ひ入れ
唯一の存在である。口家の名にのこつて
たそれと似た好悪の行跡も思ひ
入れ、今日の白晝。ヒストリを帯いた打撃
を腰にさげすむるを見思ふといふ
唯一の存在が口家である。

へい、これ最野直の流る文化の流る文化

口家は今日その名にのこつたところ
最も最野直の行跡も思ひ入れ
唯一の存在である。口家の名にのこつて
たそれと似た好悪の行跡も思ひ
入れ、今日の白晝。ヒストリを帯いた打撃
を腰にさげすむるを見思ふといふ
唯一の存在が口家である。

口家は今日その名にのこつたところ
最も最野直の行跡も思ひ入れ
唯一の存在である。口家の名にのこつて
たそれと似た好悪の行跡も思ひ
入れ、今日の白晝。ヒストリを帯いた打撃
を腰にさげすむるを見思ふといふ
唯一の存在が口家である。

口家は今日その名にのこつたところ
最も最野直の行跡も思ひ入れ
唯一の存在である。口家の名にのこつて
たそれと似た好悪の行跡も思ひ
入れ、今日の白晝。ヒストリを帯いた打撃
を腰にさげすむるを見思ふといふ
唯一の存在が口家である。

人同の立場からの国家の理解
私は農村は農業を主業としている人々の

生活様式の存在をどうと見たし、

都市は特に近代化の流の強さから

様式の存在をどうと見たし、

ある。

同様に、国民生活は土地を共同して

占有している人にかつては、国家の統

治に力をつくす者、共同の統治者と

してその治下に隷属したものは、民

社と云ふ。彼等がうける統治の組織を

国家と云ふ。

① 都市はその都市丈のものではない。

② 山神に祈って供用する土地
テリトリーの概念
今地獄上口境外の土地を

ヤルビン

東国分村

① 民衆の研究についての大纲

一 都市と自然との関係

都市計画

交流路線の発展

口境智の意味

完結的都市と口境、口境のライン
峠の事と峠、口境の発展
土地共有関係の進展及び必要
社会関係

一 口境線内の諸条件

白紙になつておられ人同関係の視座
を欠いている

(村落理解の前提、ヤルビン

の理解) 自然村の場合

各種機能集団の中、口境の機能

△エリカ座の人の著作類には著者の記述なし。
行政組織の下のアルパート学友や何人居る
江の島の子供

☆
2
小
教
育
法
の
研究
に
関
する
一
書
下
民

○
破
泡
の
接
合
に
は
電
氣
的
接
合
も
可
能
な
が
ら
も

一口家の料理

人司本位

東洋靴の完全の革命

口常の事を川室

統治機構の末裔

5. 社會遇
難
之
理
節

社会文化としての国家の理解の

おれは口余への黒物な多分

國にあり人の生活の改善

一、破花に深因ハキツハ
麗跡を造

めくめく同列

都市社会推進論

の
因
式



職場の近づく
後には職場の
世帯させると
の中心世帯を
めは世帯の近
職場の近づく

以下大略は

都市配置とヒューマン・リレーション

都市配置の原理は上下関係を主軸として関係の中セクショナリズムと都市山を幾によし活動を持続してゐる。ヒューマン・リレーションは合理的な実定法的ルールによつて動いてゐるのに対して都市同の活動にはランダムルールがあつてそれが都市活動の基準を定めてゐると云へないであらう。金口都市の樹状配置の構造と活動がヒューマン・リレーションの構造と幾分異なるのはヒューマン・リレーションは幾分異なるからである。

この二つは、クラウゼの思想は、資本主義
経済に見え、ふと共に、米や租税の金
口の経済活動にも見え、ふと、又、
可なりには封建的統治にも直に、
族の家、の経済にも見え、
総て、合理的な支配組織に、
考え、ふと、組織である。これ、近代
のヨーロッパの統治組織や資本主義的
経済の中、の財産物であり、
これ、ふと、の経済活動である。

（十月七日）